

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CPD福知山	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市長田野町2丁目51	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	180人
地区区分	6地域	年間使用時間	8,780時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年1月27日
敷地面積	29,875 m ²	作成者	寺川幸子
建築面積	14,275 m ²	確認日	2023年1月27日
延床面積	28,126 m ²	確認者	定森博一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.9</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた。機能的な空間づくり、省エネルギーへの配慮に取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。</p>		
<p>Q1 室内環境</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ゆとりのある階高と空間の自由さ、積載荷量の計画により、設備やプランニングの自由度が極めて高く、将来用途変更可能性へ配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>周辺の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>建物の節水性に配慮している。軽体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた。ノンフロン断熱材を使用し、汚染物質含有材料の使用回避を行った。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>消費エネルギー削減により運用時のLCCO₂排出量低減に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される